

地域包括ケアを目指して



医療法人民善会
理事長
清水哲也先生

富岡市で医療法人民善会の運営をしております理事長の清水哲也と申します。私も80歳を迎え現役の医師として地域医療に命を捧げるつもりです。在宅医療では夜間の急患、看取り対応を365日24時間対応で診療をさせて頂いております。

細谷クリニックは昭和25年医療法人民善会開設以来、地域医療に取り組み親しみ愛される医療機関として長年開業させて頂いております。2000年介護保険がスタートした時点では療養型の細谷病院として運営し、平成22年の療養型廃止の動きの中で、介護療養型老人保健施設48床と有床19床の細谷クリニックとしてスタートし在宅医療、介護を中心とする施設運営を展開してまいりました。平成26年には機能強化型在宅支援診療所として1年365日24時間対応で在宅医療を支え、自宅にいらっしゃる方から特養、有料老人ホー

ム等様々な生活状況に応じ予防医学から終末期看取りに至るまで、南牧村から高崎に至るまで約1000人の方々の診療に携わっております。在宅の患者さんの中には急性肺炎になる方や慢性呼吸不全、癌の方々も多くあります。電話一本で、いつでもすぐに対応してくれるマルホンさんの在宅酸素で、入院せずに在宅で治療ができ小型軽量でとても助かっております。また急性肺炎の時などの対応も素早く24時間対応で一命をとりとめることができます。

また、国の進める地域包括ケアの実現に向け、子供から高齢者までいつまでも元気に暮らせるように健康延伸、運動のスポーツジム、酸素カプセル、自費での在宅支援サービスベンチャー、市町村の総合事業、介護保険サービスの提供、子ども食堂、フードバンク、子育て支援、子供学習支援等を総合的NPO介護情報館で展開しています。

県内初の介護医療院1か所、特養1か所、老健1か所、有料老人ホーム7か所、特定施設1か所、訪問看護1か所、訪問介護1か所、デイサービス6か所、デイケア2か所等の施設を展開し、急性期から維持期、退院に至るまでリハビリを経て在宅復帰がス

ムーズに行くようにリハビリを強化し在宅医療訪問診療や訪問看護、介護を視野にいつでも利用できるようにサポートし通所リハビリ訪問リハビリ通所系のサービスの利用も含め在宅生活をサポートしてゆきます。

6月に開業する細谷透析クリニック様



尚、6月からは細谷透析センターがオープンを迎え介護が必要で在宅生活が困難な方が施設入居しながら透析治療を受けることができます。

出来ます。在宅復帰強化型を目指す介護老人施設・特定施設吉井など続々とオープンを迎え富岡を中心とした地域医療をはじめ新しい町創りを提案してまいります。見学・相談、ご利用のご用命がありましたらお気軽にご連絡ください。

6月に開業する老人保健施設様



いきいき

栃木県 佐野市

HOTさん

飯田 彦一さん(86歳 HOT歴1年)



一生懸命リハビリ中

今回は佐野市にある特別養護老人ホーム丹頂に入所されている飯田彦一さんにインタビューをさせていただきました。

丹頂に入所後、亀田医院様にてHOTが導入となりました。入所前から息苦しさがあり、導入するにあたって最初の印象は「この機械を使うことで今の息苦しさが少しでも落ち着くのであれば使いたい。」と話してくれました。

飯田さんは建設業の仕事を50年以上お勤めになり、若い頃から休みなく働き、橋、道路、ダムなどの建設に携わり、仕事では重機などの新しい機械の導入

などに興味があったそうです。酸素濃縮装置に関しても目新しい機械なのでごく興味があつたとお話してくれました。

25歳の若さで現場代理人となつた頃にはタバコを1日30本以上吸う生活が続いていたそうです。若い頃は健康診断でも問題はありませんでした。70歳近くまで同じペースでタバコを吸っていたせいか、動く際に息切れを感じることが増えて肺気腫と診断されました。

現在はHOTを導入したことで以前程の息苦しさはなくなり、週に1度のリハビリや時代劇、食事、今年に入ってからオリンピックや野球を楽しむにしているそうで、スポーツの話では大変盛り上がりました。リハビリ以外にも施設内を色々な工夫をしながら周り、多くの職員さんや入所者様と楽しく話されている様子も何度も見ました。今では多くの友達の方々と

話す事が楽しみの一つでもあるとお話してくれました。

そんな飯田さんからは「今では安心して機械も使える様になったので、これからも上手く付き合っていきたい。」とのお言葉をいただきました。配送、点検時には笑顔で迎えてくださり、ありがとうございます。今後もし安心して療養していただけるように努力をしていきたいと思ひます。



会話を楽しみながらのお食事
(この日はちょっと緊張していらっしゃいました)

担当者

探した地域情報

北毛エリア担当
加納 亮一

長井坂城跡

昭和村の患者様宅をお伺いした際、「長井坂城跡」の看板を見かけたので行ってみました。

名前の通り「長い坂」を登りきると関越道長井坂トンネル真上に到着。現在、城跡は畑となっておりませんが、「馬出し跡」・「三の丸跡」など標柱があります。

調べてみると、永禄3（一五六〇）年に長尾景虎（上杉謙信）の沼田城攻略・関東出陣の際に着陣したのが始まりとされ、再三に渡る関東出陣の重要な拠点となっていたようです。その後は、天正の初めに北条氏の持城となり、城番は近隣の地侍集団が勤めました。また、城内には沼田街道が通っていた！よう



馬出し跡の標柱



城跡からの眺望

点としても役割を担っていたとの事。しかし、真田氏が沼田城を略取すると、北条氏は長井坂城を北方最前線の要とし、両者の激しい攻防が繰り返されましたが、天正18（一五九〇）年の豊臣秀吉の小田原城攻めの際に廃城となつたそうです。石垣等の城跡らしきものはありませんが、そこから見渡す景色は絶景です。わずか30年間の城でしたが上杉・真田・北条等が奪い合った最前線に思いを馳せました。

楽な入浴のしかた

暖かくなり汗をかきやすい季節になってきました。今回は酸素吸入しながらの入浴の注意点についてご紹介します。

入浴は、酸素の必要量を増加させ体力を消耗させます。入浴時は浴室内に蒸気が立ちこめないうようにしましょう。水圧による呼吸への負担を避けるため、お湯の量はみぞおちの高さ程度までにし、肩を浸さないようにしましょう。肩までつかると息苦しくなる人は、お腹まで入るか、シャワーにしましょう。お湯の温度はややぬるめにし、長湯は避けるようにしましょう。

体の洗いや、髪の洗いや

いすを置いて、座って体を洗いましょう。ゴシゴシ洗う動作は息を止めがちになったりリズムが速くなり、呼吸が乱れ息苦しくなってしまう。口すばめ呼吸をおこない、息を吐きながら体を洗いましょう。

HOTの安全情報

髪を洗うときは、腕を肩より上にあげなければならぬこと、ゴシゴシと同じ動作の繰り返しになることから息苦しくなってしまう。口すばめ呼吸をおこない、息を吐きながら髪を洗いましょう。



身体を洗うときはゆっくり大きな動作で、呼吸に合わせて



首を少し傾けると腕を挙げずに洗髪できます

湯船の入り方

呼吸を整えてから湯船に入りましょう。湯船をまたぐときは息を吐きながらおこないます。お湯につかっている間も口すばめ呼吸をおこないましょう。

ご希望の方に「HOT日誌」を
差し上げています。



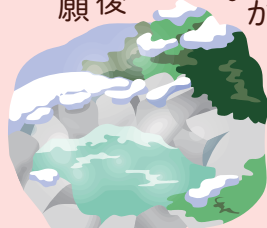
「大陽日酸(株)カレンダー」より
許可を得て転載しています

◆病気の経過を把握しよう
肺の病気にはいろいろな種類があります。病気の経過も異なり、薬の効果もさまざまです。病気と上手につきあっていくには、今後の経過を理解した上で、現状を把握することが大切になります。咳や痰、息切れなどの症状が普段ほどの程度なのか、日誌に記録するなどして確認しておきましょう。そうすることで、病状の変化がいち早く把握できます。体温、体重、服薬、血圧、脈拍、酸素飽和度なども記録しておく参考になります。

肺の病気と
上手につきあいましよう

監修…松井弘稔先生
(国立病院機構 東京病院 呼吸器内科)

北毛地区のエリアマネージャーをしています、須田治彦です。
北毛エリアは5月から一部担当が代わりました。新担当は渋川北群馬担当の清水学、渋川吾妻担当の坂本拓実、利根沼田担当の加納亮一・小林瞭、そして私の5人体制で医療機関様、在宅療養者さまに満足していただけるよう素早い対応を心がけ日々頑張っています。どうぞよろしく願い致します。
私生活では8月生まれということもあり、夏が大好きです。キャンプやツーリングなど楽しみがいっぱいあります。何歳になっても楽しみは持ち続けたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。



温泉も大好きで
毎週行っています

おだ はるひこ
須田 治彦



血液型 : B型
好きな食べ物: ラーメン
嫌いな食べ物: なし

HOT
社員紹介

編集後記

暖かくなり眠気とたたかう毎日です。シャキッとしたいです。(いしげき)

今回の取材で見た城跡からの景色、雨上がりで雲の隙間から射す光に心が洗われました。(亮)

気温も上がりだし、今年もまた庭の雑草との戦いが始まりました。雑草は嫌ですが、踏まれてもへこたれない雑草魂は見習いたいものです(げん)

花粉から開放されたいと毎日思っています。(はしもと)

ひ孫孫
名前混乱 全部言う

聞き取れず
隣にならって 空笑い

危ないと
孫に注意し 転ぶ祖母

おでかけは
歯科外科内科 耳鼻眼科

バラに似て
妻も花散り トゲ残し

『シルバー川柳』全国有料老人ホーム協会 ポブラ社編集部より抜粋

シルバー川柳

――バックナンバーございます。ご希望の方は担当者までお申し付けください。――

第35号

株式会社マルホン 「HOTでスマイル」 編集委員会 発行責任者 鈴木 武
平成30年5月1日発行 前橋市問屋町 2-16-11 TEL 027-210-7222